



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月27日

上場会社名 大日本住友製薬株式会社 上場取引所 東・大  
 コード番号 4506 URL <http://www.ds-pharma.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 正世  
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 樋口 敦子 (TEL) 06-6203-1407  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	89,083	△6.0	10,886	△14.9	11,487	△12.7	5,699	△29.5
24年3月期第1四半期	94,798	△6.9	12,787	△13.5	13,154	△11.3	8,086	△12.8

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 15,620百万円( 32.2%) 24年3月期第1四半期 11,819百万円( 29.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	14.34	—
24年3月期第1四半期	20.35	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	582,215	331,271	56.9
24年3月期	559,410	319,227	57.1

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 331,271百万円 24年3月期 319,227百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	179,000	0.5	17,200	16.8	17,000	17.4	8,800	△8.0	22.15
通期	348,000	△0.7	25,000	22.5	24,000	27.2	12,000	39.1	30.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は【添付資料】P.5「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当する変更を行なっております。詳細は【添付資料】P.5「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	397,900,154株	24年3月期	397,900,154株
25年3月期1Q	588,908株	24年3月期	588,699株
25年3月期1Q	397,311,319株	24年3月期1Q	397,312,780株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料の予想は、発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件等につきましては、【添付資料】P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社は、平成24年7月27日(金)に機関投資家・アナリスト向けに、第1四半期決算カンファレンスコールを開催する予定です。このカンファレンスコールで配布した資料等については、当社ホームページに掲載する予定です。

## 【添付資料】

## 目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

医薬品業界におきましては、画期的新薬の創出の停滞や新薬開発コストの増大に加え、承認審査の厳格化や抜本的な医療制度改革が世界的に進行しており、一方、国内においても、本年4月に薬価改定が実施されるなど、厳しい事業環境が続いております。

このような状況のもと、国内においては、高血圧症治療剤「アバプロ」、非定型抗精神病薬「ロナセン」をはじめとする戦略品や、ビッグアナイド系経口血糖降下剤「メトグルコ」等の新製品の販売拡大に引き続き注力いたしました。米国においては、非定型抗精神病薬「ラツダ」の一層の市場浸透・売上拡大に向け、販売活動に全力で取り組みました。さらに、本年4月には、がん領域における開発パイプラインの強化と研究開発体制の拡充を目的として、バイオベンチャー企業のボストン・バイオメディカル・インク（以下「BBI社」）を買収し、完全子会社化いたしました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、北米セグメントや海外その他セグメント等で前年同四半期を下回り、890億83百万円（前年同四半期比6.0%減）となりました。また、営業利益は108億86百万円（前年同四半期比14.9%減）、経常利益は114億87百万円（前年同四半期比12.7%減）となりました。四半期純利益は、米国において組織・業務改革を進めたことに伴う事業構造改善費用の計上等により、56億99百万円（前年同四半期比29.5%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

## ①日本

薬価改定による減収要因がありましたが、戦略品の「アバプロ」、「ロナセン」、パーキンソン病治療剤「トレリーフ」に加え、新製品の「メトグルコ」が大きく伸長したこと等により、セグメントの売上高は446億47百万円（前年同四半期比0.2%増）となりました。しかし薬価改定による売上総利益の減少が影響し、セグメント利益は175億96百万円（前年同四半期比2.7%減）となりました。

## ②北米

サノビオン・ファーマシューティカルズ・インク（以下「サノビオン社」）においては、引き続き「ラツダ」の販売活動に邁進し、前年同四半期を上回りましたが、特許期間の満了を控えた短時間作用型β作動薬「ゾペネックス」の販売減少に加え、円高の影響等もあり、セグメントの売上高は290億30百万円（前年同四半期比7.9%減）となりました。一方で、人件費の削減等により販売費・一般管理費が減少し、セグメント利益は、43億92百万円（前年同四半期比18.7%増）となりました。

## ③中国

カルバペネム系抗生物質製剤「メロペン」（現地販売名「美平」）の売上高は前年同四半期を下回り、セグメントの売上高は16億69百万円（前年同四半期比11.2%減）、セグメント利益は6億24百万円（前年同四半期比24.1%減）となりました。

## ④海外その他

メロペンの輸出が減少した影響が大きく、セグメントの売上高は31億6百万円（前年同四半期比51.5%減）、セグメント利益は13億79百万円（前年同四半期比51.5%減）となりました。

上記報告セグメントの他に当社グループは、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の販売を行っており、それらの事業の売上高は106億29百万円（前年同四半期比1.8%増）、セグメント利益は9億43百万円（前年同四半期比1.9%減）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産については、BBI社の買収に伴い有価証券（譲渡性預金）が減少し、仕掛研究開発等の無形固定資産が大きく増加しました。また、為替レートの変動によりサノビオン社など米国子会社の資産が円貨ベースで増加しました。この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ228億4百万円増加し、5,822億15百万円となりました。

負債については、未払金や長期借入金は減少しましたが、買収に関連した繰延税金負債の増加等により、前連結会計年度末に比べ107億60百万円増加し、2,509億43百万円となりました。

純資産については、四半期純利益の計上や、円安により為替換算調整勘定が変動したこと等により、前連結会計年度末に比べ120億44百万円増加し、3,312億71百万円となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は56.9%となりました。

#### BBI社買収に伴う企業結合会計の処理

BBI社買収に伴う資産等の評価および会計処理は以下のとおりです。なお、取得原価の資産配分は、現時点では暫定的な金額であります。

資産等の評価内容			(百万円未満切捨て)
	取得原価 配分前	取得原価 配分後	会計処理(償却方法)
仕掛研究開発(無形固定資産)	—	28,483	資産計上(承認取得後償却)
上記に対する繰延税金負債	—	△11,598	
その他の資産・負債(純額)	86	86	
のれん	—	299	償却年数20年
合計	86	17,270	

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績の動向等を踏まえ、平成24年5月10日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしました。

## 平成25年3月期第2四半期連結累計期間業績予想の修正（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	
前回発表予想（A）	176,000	11,000	10,500	5,000	12円58銭
今回発表予想（B）	179,000	17,200	17,000	8,800	22円15銭
増減額（B－A）	3,000	6,200	6,500	3,800	
増減率（％）	1.7	56.4	61.9	76.0	
（ご参考）前期第2四半期実績 （平成24年3月期第2四半期）	178,026	14,726	14,480	9,569	24円09銭

## 平成25年3月期通期連結業績予想の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	
前回発表予想（A）	348,000	22,000	21,000	10,500	26円43銭
今回発表予想（B）	348,000	25,000	24,000	12,000	30円20銭
増減額（B－A）	—	3,000	3,000	1,500	
増減率（％）	—	13.6	14.3	14.3	
（ご参考）前期実績 （平成24年3月期）	350,395	20,402	18,872	8,629	21円72銭

## 〈第2四半期連結累計期間〉

売上高は、北米での既存品売上が好調なことや中国での製品出荷時期のずれなどにより、前回公表予想を上回る見通しです。一方、販売費及び一般管理費は、円高の影響に加え、北米での新製品のマーケティング費用等の発生が第3四半期以降にずれることなどから、前回公表予想を下回る見通しです。

これらのことから、平成25年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想を、平成24年5月10日の公表値から、売上高は30億円増の1,790億円、営業利益は62億円増の172億円、経常利益は65億円増の170億円、四半期純利益は38億円増の88億円に修正いたします。

## 〈通期〉

売上高は、北米では為替影響はあるものの、引き続き既存品が好調に推移すると見込まれます。一方、国内において第3四半期以降に後発品使用促進の影響が大きくなることから、売上高全体では前回公表予想並みを見込んでおります。

研究開発費を除く販売費及び一般管理費は、第3四半期以降に、北米で営業経費が増加すると見込まれますが、円高の影響等により前回公表予想並みを見込んでおります。研究開発費については、円高の影響も含め、前回公表予想から減少する見通しです。

これらのことから、平成25年3月期通期連結業績予想を、平成24年5月10日の公表値から、営業利益は30億円増の250億円、経常利益は30億円増の240億円、当期純利益は15億円増の120億円に修正いたします。

なお、最近の為替動向に鑑み、通期の想定為替レートを80円／米ドル（期初予想時は83円／米ドル）に変更しております。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後さまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### ・有形固定資産の減価償却方法の変更

従来、当社および国内連結子会社は建物以外の有形固定資産の減価償却方法について定率法を採用しておりましたが、今後はグローバル製品の海外売上高が拡大していくことが見込まれることから、重要性が高まる海外連結子会社が採用する減価償却方法との整合をはかるため、当第1四半期連結会計期間より、当社および国内連結子会社について、有形固定資産の減価償却方法を定額法に変更することといたしました。

この減価償却方法の変更により、従来の方法によった場合と比較して、当第1四半期連結累計期間の減価償却費は、379百万円減少し、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益は216百万円それぞれ増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,953	19,873
受取手形及び売掛金	101,955	96,885
有価証券	99,118	87,787
商品及び製品	42,480	46,521
仕掛品	2,591	2,616
原材料及び貯蔵品	13,045	14,175
繰延税金資産	31,782	31,686
短期貸付金	25,000	25,000
その他	5,433	5,673
貸倒引当金	△110	△104
流動資産合計	334,250	330,114
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	91,115	91,684
減価償却累計額及び減損損失累計額	△50,753	△51,375
建物及び構築物(純額)	40,361	40,309
機械装置及び運搬具	76,854	77,002
減価償却累計額及び減損損失累計額	△66,997	△67,358
機械装置及び運搬具(純額)	9,856	9,643
土地	10,248	10,265
建設仮勘定	2,121	2,336
その他	28,104	28,366
減価償却累計額及び減損損失累計額	△23,994	△24,262
その他(純額)	4,109	4,103
有形固定資産合計	66,697	66,658
無形固定資産		
のれん	64,311	67,287
特許権	32,524	31,907
仕掛研究開発	5,659	29,203
その他	5,211	5,134
無形固定資産合計	107,706	133,532
投資その他の資産		
投資有価証券	29,855	29,697
繰延税金資産	11,624	13,041
その他	9,331	9,225
貸倒引当金	△55	△54
投資その他の資産合計	50,755	51,909
固定資産合計	225,159	252,100
資産合計	559,410	582,215



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,860	18,035
1年内返済予定の長期借入金	10,000	10,000
未払法人税等	5,437	3,878
賞与引当金	7,592	3,697
返品調整引当金	3,657	4,367
売上割戻引当金	18,527	20,518
未払金	30,009	23,859
その他	13,881	22,356
流動負債合計	105,965	106,713
固定負債		
社債	70,000	70,000
長期借入金	48,000	45,500
退職給付引当金	10,790	10,996
その他	5,427	17,733
固定負債合計	134,217	144,230
負債合計	240,183	250,943
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	22,400	22,400
資本剰余金	15,860	15,860
利益剰余金	305,664	307,787
自己株式	△649	△649
株主資本合計	343,275	345,398
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,016	7,977
繰延ヘッジ損益	—	△29
為替換算調整勘定	△32,064	△22,074
その他の包括利益累計額合計	△24,047	△14,126
純資産合計	319,227	331,271
負債純資産合計	559,410	582,215

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	94,798	89,083
売上原価	25,784	25,215
売上総利益	69,013	63,868
返品調整引当金戻入額	—	4
返品調整引当金繰入額	4	—
差引売上総利益	69,008	63,872
販売費及び一般管理費		
給料	9,048	8,821
賞与引当金繰入額	2,594	2,513
研究開発費	13,636	14,061
その他	30,942	27,588
販売費及び一般管理費合計	56,221	52,985
営業利益	12,787	10,886
営業外収益		
受取利息	110	76
受取配当金	364	442
その他	492	627
営業外収益合計	968	1,145
営業外費用		
支払利息	308	271
寄付金	176	162
その他	115	110
営業外費用合計	600	544
経常利益	13,154	11,487
特別損失		
事業構造改善費用	—	1,081
減損損失	—	414
特別損失合計	—	1,495
税金等調整前四半期純利益	13,154	9,991
法人税等	5,068	4,292
少数株主損益調整前四半期純利益	8,086	5,699
四半期純利益	8,086	5,699

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,086	5,699
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△364	△38
繰延ヘッジ損益	—	△29
為替換算調整勘定	4,097	9,989
その他の包括利益合計	3,732	9,921
四半期包括利益	11,819	15,620
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,819	15,620
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	44,555	31,514	1,880	6,408	84,358	10,440	94,798
セグメント間の内部 売上高又は振替高	90	—	—	—	90	23	114
計	44,646	31,514	1,880	6,408	84,448	10,463	94,912
セグメント利益	18,084	3,701	823	2,846	25,454	962	26,416

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の事業を含んでおります。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	25,454
「その他」の区分の利益	962
研究開発費(注)	△13,636
セグメント間取引消去	6
四半期連結損益計算書の営業利益	12,787

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分していません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	44,647	29,030	1,669	3,106	78,453	10,629	89,083
セグメント間の内部 売上高又は振替高	35	—	—	—	35	22	57
計	44,682	29,030	1,669	3,106	78,488	10,651	89,140
セグメント利益	17,596	4,392	624	1,379	23,993	943	24,937

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の事業を含んでおります。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	23,993
「その他」の区分の利益	943
研究開発費(注)	△14,061
セグメント間取引消去	10
四半期連結損益計算書の営業利益	10,886

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分しておりません。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「北米」セグメントにおいて、仕掛研究開発の一部について減損損失を計上しました。

将来の収益性がないと判断した仕掛研究開発について回収可能性を評価し、414百万円を減損損失に計上しております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。